

	<p>目標1 ^{ひんこん} 貧困をなくそう</p> <p>貧困につながる課題を解決するための目標。 世界では8億人以上の人々が1ドル25セント未満(約140円)で生活している。 また教育を受けられないことで、しごとに就くことが難しく、貧困を抜け出せない人も多い。</p>		<p>目標4 ^{しつ たかいきょういく} 質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人々が教育を受けられるように、また生涯にわたって学習できる機会を得られるようにするための目標。世界には学校に通うことができず読み書き計算ができない人々がたくさんいる。質の高い教育を受けることは安定した仕事につき、豊かな生活を送るために必要。</p>
	<p>目標2 ^{きが} 飢餓をゼロに</p> <p>食料問題を解決するための目標。食料支援だけでなく食料を安定的に確保するため、田や畑を整えて、農業が永続的に続けられる環境を目指す取り組みが必要。</p>		<p>目標5 ^{びやうどう じつげん} ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>男女の格差についての課題解決に向けた目標。男性、女性というだけで賃金に格差があったり、家事や育児、介護の負担の不平等があったり、男女の格差は先進国にもいまだに多くある。</p>
	<p>目標3 ^{けんこう ふくし} すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人々が健康的な生活を送れるように立てられた目標。感染症の予防や誰もが医療の機会を得ることができれば、結核、はしかなどの予防できる病気で命を落とす人や、妊娠や出産でなくなる女性、子どもの数は減少する。</p>		<p>目標6 ^{あんぜん みず せかいじゅう} 安全な水とトイレを世界中に</p> <p>感染症対策や安定的な農業活動などあらゆる活動に欠かせない水を確保するための目標。 世界では多くの人々が安全に管理された飲料水を利用できていない。また、水不足の対策として、河川や森林の整備など安全に水が利用できる環境づくりも重要である。</p>
	<p>目標7 エネルギーをみんなに ^{そしてクリーンに}</p> <p>電力などの安定したエネルギーをすべての人に届けるための目標。便利な生活に欠かせない電力。しかし、エネルギーを安定的に使いつづけることができなかつたり、環境に悪影響をあたえる温室効果ガスが増加しているという課題が深刻化している。</p>		<p>目標8 ^{はたら けいざいせいちよう} 働きがいも 経済成長も</p> <p>強制労働や人身売買を撲滅し、誰もが働きがいのある人間らしい仕事を行えるようにするための目標。日本でも長時間労働の削減や男性の育児休暇の取得を積極的に進めるなど働く時間、自由な時間、家族との時間、どれも大事にできる社会になるようルール作りが進められている。</p>

 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>道路、学校、公園、病院、水道など日常生活を送るために必要な施設や設備（インフラ）を整備して、産業を発展させていくための目標。</p> <p>近年ではインターネットなどの通信環境の整備は新しい情報を得るためにも、色々な国との交流のためにも必要不可欠となっている。産業や経済が安定して発展していくためにもインフラを整えることが大前提である。</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>目標12 つくる責任 つかう責任</p> <p>「つくる責任 つかう責任」とは消費と生産活動を整える目標のこと。</p> <p>世界で作られる食べ物は世界中の人々にまんべんなく行き渡っていない。地球上では残すほどたくさんの食べ物をいつでも食べられるような生活している人もいれば、食べ物がなくて、飢餓状態の人もある。食べ残しをしない、物を大切に使い、すぐに捨てないなど、ごみを減らす努力も必要。</p>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>目標10 人や国の不平等をなくそう</p> <p>国内や他の国との間で貧富の格差を改善する目標のこと。</p> <p>国、地域、人種、宗教などの違いによって、攻撃したり、傷つけたり、自分より低く扱うことは決して行ったりしてはいけない。法律や政策、行動を通して不平等をなくすことが必要である。</p>	 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>目標13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>気候変動から地球を守るための目標。</p> <p>地球温暖化は気温上昇による農作物の減少や大雨による洪水など災害発生の引き金となっている。また海水が上昇することにより、土地が水没する、生き物の生態系の変化など地球上のありとあらゆるところに深刻な影響が出ている。</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>目標11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>人々が安心して生活できる住居を確保し、安定した生活のために必要な目標。</p> <p>交通、自然環境、学校、病院などが整っていることが住み続ける都市の必要条件。都会では仕事を求めて集まる人に対して、住む場所が足りないという問題も起きている。また災害による死者や被災者数を減らすことも目標に掲げられている。</p>	 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>目標14 海の豊かさを守ろう</p> <p>気候変動による海水温の上昇や海洋プラスチックごみをはじめとする廃棄物による生態系への影響をおさえるための目標。</p> <p>日常生活に欠かせないプラスチック製品。海に流すと魚がエサと間違えて食べてしまう事故が多く発生している。また人間社会が排出している二酸化炭素量の増加が原因で海洋の酸性化が進んでいる。</p>



目標15 陸の豊かさも守ろう

海の豊かさと同様に陸の生態系や資源を守るための目標。

森林伐採は陸の生態系を壊す要因になるだけでなく、干ばつや砂漠化など人が住む場所を破壊することにつながる。

大地が汚染されたり、生態系が壊れることは食料問題にもつながり、森林保全への取り組みも急がれている。



目標16 平和と公正をすべての人に

世界中から犯罪や暴力がなくなるよう、紛争がなく、治安の良い世の中にするための目標。

紛争がない世の中にするのはもちろん、子どもに対する暴力や虐待を撲滅することも目標に掲げられている。



目標17 パートナリープで目標を達成しよう

世界中のすべての人が安全で安心して生活ができ、心豊かに過ごせるためには世界中のあらゆる人々が協力して、世界を変えていくための目標。

開発途上国への支援を含め、世界全体で誰一人取り残さない社会にするためにはすべての国、学者、企業、個人などが力を合わせて、協力することが重要である。